

ブレーキ付

## 日立丸のこ

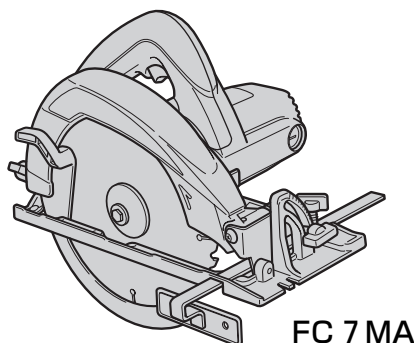
### FC 6BB・FC 7BB FC 6MA・FC 7MA

〔チップソー付〕

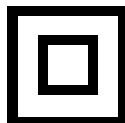
このたびはブレーキ付日立家庭用丸のこをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



HITACHI

目次	ページ
電動工具の安全上のご注意	1～4
● 二重絶縁について	
丸のこの使用上のご注意	5～7
各部の名称	8
● 付属品	
用途	9
ご使用前の準備	9～10
ご使用前の点検	11～12
のこ刃の取付け・取りはずし	13～14
使いかた	14～16
別売部品	17
点検・手入れについて	18～19
仕様	19
アフターサービスについて	20～21

## ⚠ 警告、⚠ 注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」、「⚠ 注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠ 警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠ 注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

**注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

# 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
  - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

## 警 告

- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
  - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
  - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
  - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
  - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

# …電動工具の安全上のご注意

## 警告


- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼してください。
  - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 使用しない、または修理する場合。
  - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。
- 屋外で継ぎ(延長)コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。

## 警告

- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口で修理を依頼してください。  
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口で修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお申し付けください。  
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

## ■二重絶縁について

電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの丸のこは二重絶縁をしてあり、銘板に  マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違っ て組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

# 丸のこの使用上のご注意

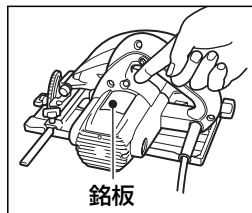
先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、丸のことして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

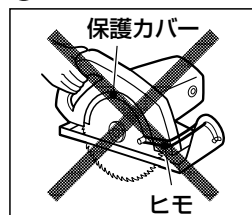
①



- ② 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。

のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

②



- ③ のこ刃は、銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。また、歯底径が下記の値以下ののこ刃は使用しないでください。

保護カバーの覆いが不完全となり、けがの原因になります。

使用できるのこ刃は、

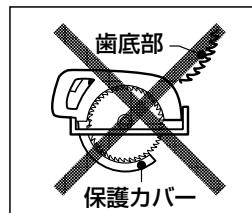
{ FC 6BB・FC 6MAの場合 外径 160～165 mm }  
{ FC 7BB・FC 7MAの場合 外径 180～190 mm } です。

また、のこ刃は、歯底径が

{ FC 6BB・FC 6MAの場合 134 mm以下 }  
{ FC 7BB・FC 7MAの場合 162 mm以下 }

は、使用しないでください。

③



- ④ 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。

台が不安定であると、けがの原因になります。

- ⑤ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。

- ⑥ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。

また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。

このような台がないと、けがの原因になります。

(10 ページの図を参照してください。)



## 警 告

- ⑦ 使用中は、機体を確実に保持してください。  
確実に保持していないと、機体が振れ、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。  
けがの原因になります。
- ⑨ 切断途中で、のこ刃を回転させたまま機体を戻さないでください。  
必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから機体を持ち上げるようにしてください。  
回転させたまま機体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑩ ベンチスタンドを使用する場合は、スタンドを固定してください。  
また、接触予防装置を必ず取付けてください。  
ベンチスタンドがぐらついたり、接触予防装置がないと、けがの原因になります。
- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にて点検・修理を依頼してください。  
そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## 注 意

- ① 刃物類(のこ刃など)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。  
確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。  
のこ刃が破損し、けがの原因になります。

# … 丸のこの使用上のご注意

## ⚠ 注 意

- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。

回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。

異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。

- ⑤ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。

機体を落としたりし、けがの原因になります。

- ⑥ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。

強い反発力が生じ、けがの原因になります。

- ⑦ 材料に釘などの異物が付いてないことを確認してください。

刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

- ⑧ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上に乘せたまま作業しないでください。

手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。

- ⑨ 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。

感電の恐れがあります。

- ⑩ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。

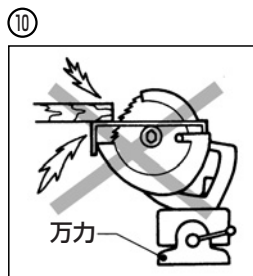
不意の接触などで、けがの原因になります。

- ⑪ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。

材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

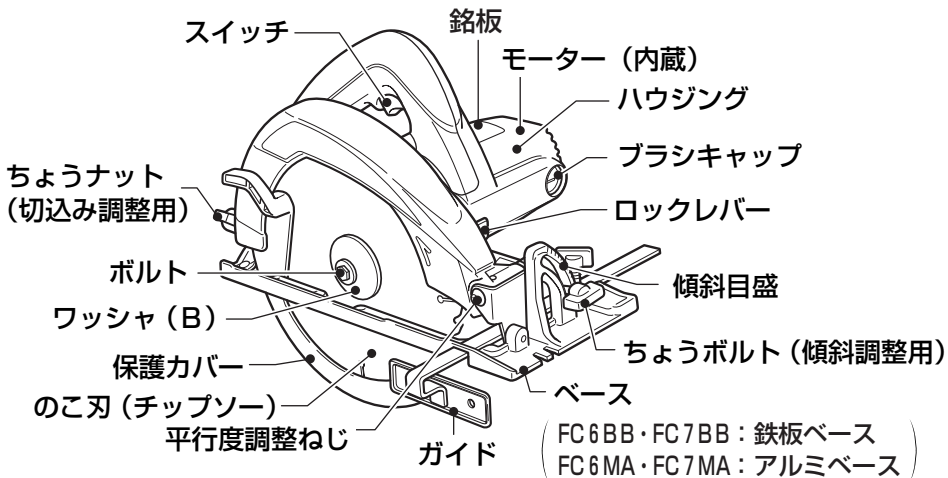
- ⑫ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

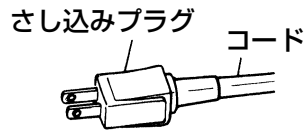




# 各部の名称



(FC 6BB・FC 7BB : 鉄板ベース)  
(FC 6MA・FC 7MA : アルミベース)

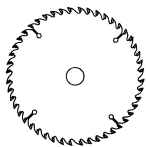


形状などの一部を変更している場合があります。

## 付属品

チップソー

1 枚



寸 法

	外径	チップ幅	のこ身厚さ	歯 数
FC6BB・FC6MA用	165mm	1.6mm	1mm	40 枚
FC7BB・FC7MA用	190mm	1.6mm	1mm	40 枚

ボックス  
スパナ

1 個



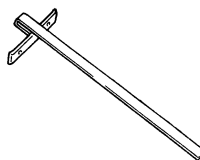
六角棒  
スパナ  
(2.5mm)

1 個



ガイド

1 個



# 用途

## 各種材料の切断

- 各種木材の切断
- 各種化粧板、薄物樹脂板、軟質新建材の切断

### 注

- 切断トイシは使用できません。
- 木材以外を切断すると、ベース面に傷が付きやすくなります。

## ご使用前の準備



作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。

### ● 漏電しゃ断器の設置をおすすめします

二重絶縁構造製品は法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

### ● 継ぎ(延長)コードを用意します

#### 警告

- 継ぎ(延長)コードは損傷のないものを使用してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と、最大の長さです。

導体公称断面積	最大の長さ
1.25mm <sup>2</sup>	10m
2 mm <sup>2</sup>	15m
3.5 mm <sup>2</sup>	30m

# ●●● ご使用前の準備

## ● 作業台(木製)を用意します

### ⚠ 警告

- 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。このような台がないと、けがの原因になります。

のこ刃は材料の下面より出ますので、材料は作業台の上のせて切断してください。また、のこ刃および保護カバーが地面に接触しないように、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。

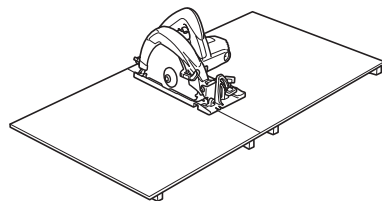
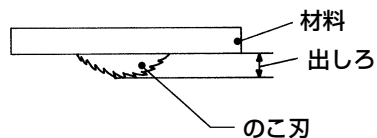
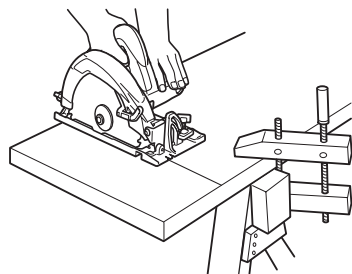
切断する材料の切り残り側は、しっかり押さえてください。

この場合、材料をバイスで固定するなどしてしっかり押さえれば、両手で作業することができます。

材料の切り落とし側が大きいときは、切断中に材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切り落とし側にも安定性のよい台または角材を設けてください。

作業台に角材などを利用する場合は、地面の平らなところを選び、角材を固定してください。

作業台がぐらぐらしていると危険です。



### ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

# ご使用前の点検

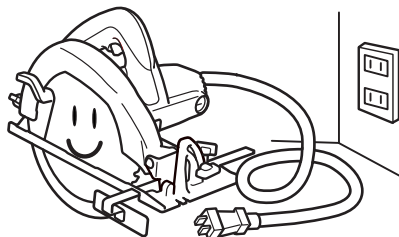
## ⚠ 警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～5項について、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

### 1 スイッチが切れていることを確かめます

スイッチが入っているの知らずに、さし込みプラグを電源コンセントにさし込むと、不意に機体が起動し思わぬ事故のもとになります。

スイッチは引くと入り、はなすと切れます。

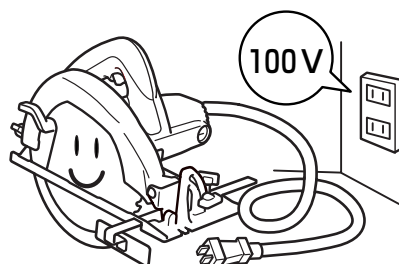


### 2 電源を確かめます

お求めの丸のこは 100 V 用です。

200 V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、破損する恐れがあります。

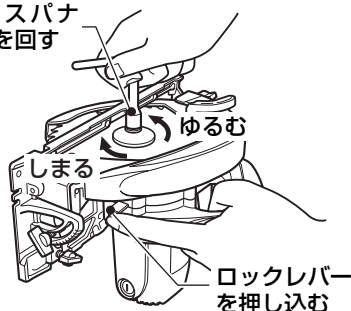
また、直流電源で使用しないでください。丸のこの損傷をまねくだけでなく危険です。



### 3 のこ刃の締付けを確かめます

13、14 ページの「のこ刃の取付け・取りはずし」の項をご参照のうえ、ボルトが十分締まっていることを確認してください。

ボックススパナ  
でボルトを回す



### 4 ちょうナット、ちょうボルトの締付けを確かめます

## ⚠ 警告

- 切込み調整用ちょうナット、傾斜調整用ちょうボルト（8 ページの「各部の名称」参照）が十分締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがの原因になります。

## 5 保護カバーの動きを確かめます

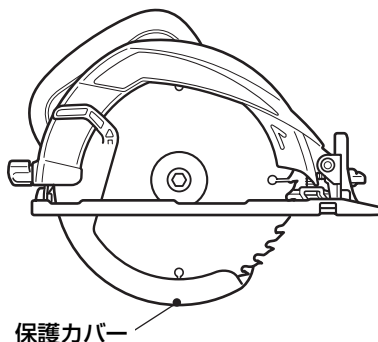
### ⚠ 警告

- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。  
この刃が露出していると、けがの原因になります。

保護カバーは、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。

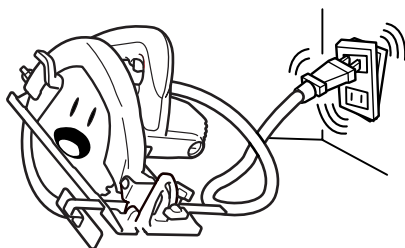
必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。

万一、保護カバーが円滑に動かない場合は、決してそのままお使いにならないでください。この場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にて修理を依頼してください。



## 6 コンセントを確かめます

電源コンセントががたついたり、さし込みプラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



## 7 ブレーキがかかることを確かめます

### ⚠ 注意

- ブレーキが働くときの反発力に注意してください。  
機体を落としたりし、けがの原因になります。

この機体はスイッチを切ると同時にブレーキがかかる構造になっています。

ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。万一、正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にて修理を依頼してください。

# のこ刃の取付け・取りはずし

## ⚠ 警告

- のこ刃の取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。  
思わぬ事故のもとになります。

## 1 取付けかた

## ⚠ 警告

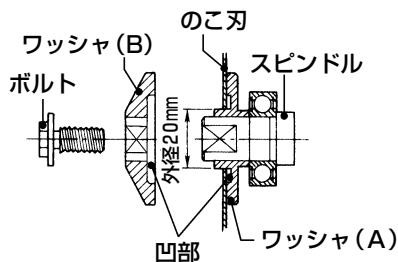
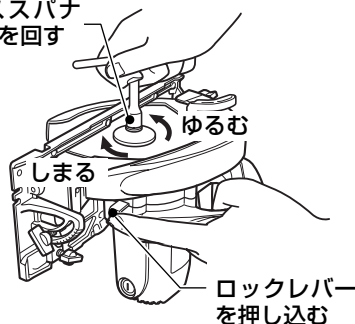
- ボルトの着脱は付属のボックススパナで作業してください。  
付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、ロックレバーが元に戻っており、のこ刃が円滑に回転することを確かめてください。

- (1) 切込み深さ（14ページの「1.切込み深さの調整」の項を参照）を最大にし、安定した床の上に丸のこを置きます。
- (2) ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを静かに回します。
- (3) のこ刃軸が固定されたらボックススパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ（B）をはずします。
- (4) スピンドルや、ワッシャ（A）、ワッシャ（B）に付いている切りくずをよくふき取ってください。
- (5) ワッシャ（A）は、穴径20mmののこ刃だけが取付けできるようになっています。  
取付けるときは、ワッシャ（A）の凹部をのこ刃側にします。

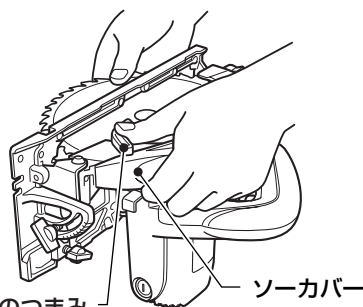
ボックススパナ  
でボルトを回す



## 注

- ワッシャ（A）、ワッシャ（B）は、必ず機体に取付けてあるものを使用してください。

- (6) 保護カバーのつまみをもって、保護カバーをソーカバーの中に引き込め、のこ刃の矢印がソーカバーの矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。
- (7) ワッシャ (B) の凹部がのこ刃側になるようにワッシャ (B) を取付けます。
- (8) ボルトを十分に締付けます。



## 2 取りはずしかた

取付けかたと逆の手順で取りはずしてください。

# 使いかた



## 調整します

### ⚠ 警告

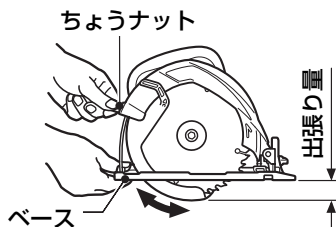
- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

## 1 切込み深さの調整

### ⚠ 警告

- 調整後、ちょうナットを十分に締付けてください。  
ゆるんでいると、けがの原因になります。

ちょうナット (切込み調整用) をゆるめ、ベースを上下させて調整します。調整が終わったら、ちょうナットを固く締付けてください。



## 2 傾斜角度の調整

### ⚠ 警告

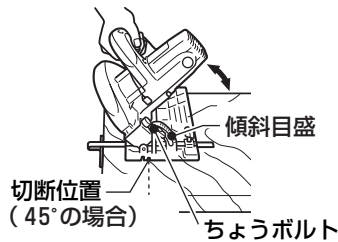
- 調整後、ちょうボルトを十分に締付けてください。  
ゆるんでいると、けがの原因になります。

# 使いかた

傾斜目盛のところのちょうボルトをゆるめると、のこ刃をベースに対して、 $0 \sim 45^\circ$ までベース傾斜目盛の範囲で傾けることができます。

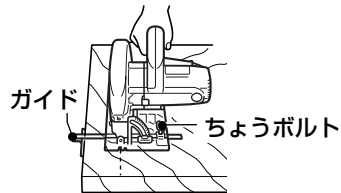
傾斜目盛に合わせて調整してください。

調整後は、ちょうボルトをしっかりと締付けてください。



## 3 ガイドの調整

ちょうボルトをゆるめ、ガイドを左右に動かして切断位置を調整します。



## 4 平行度の微調整

ベース側面とのこ刃の平行度を平行度調整ねじで微調整できます。

工場出荷の際に調整してありますが、万一、平行度が狂っていた場合は次のように調整してください。

(1) ソーカバーヒンジ部の固定ねじだけをゆるめます。

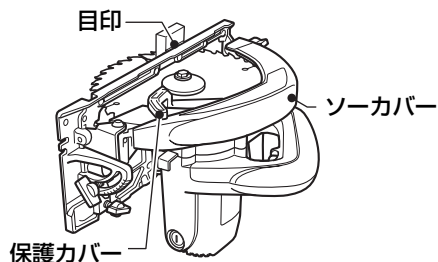
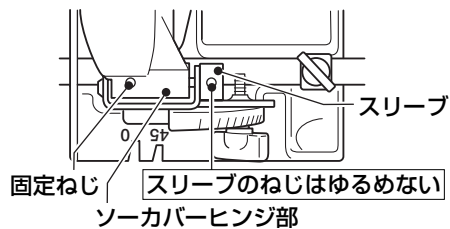
このとき、スリーブのねじはゆるめないでください。

(2) 保護カバーをソーカバーの中に引き込みます。

(3) のこ刃のベース後方側に木片を当て、ベース側面位置に目印を付けます。

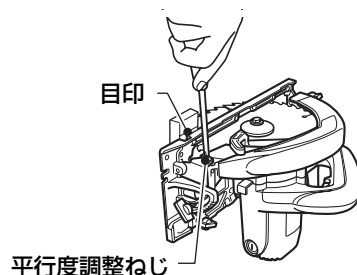
(4) 目印を付けた木片をベース前方側に移動し、目印がベース側面に合うように平行度調整ねじを回します。

(5) 調整後、固定ねじをしっかりと締付けます。



**注** • 平行度調整後、切込み深さの調整をすると、平行度が若干狂う場合があります。

• スリーブのねじをゆるめると、スリーブの紛失、ソーカバーヒンジ部のガタ発生の原因になるので、絶対にゆるめないでください。





# 切断します

## 警告

- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がするときなどには直ちにスイッチを切ってください。
- 切断中に機体をこじったり、強く押しすぎないでください。機体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。  
反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使い方はしないでください。  
けがの原因になります。
- 保護メガネを使用してください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

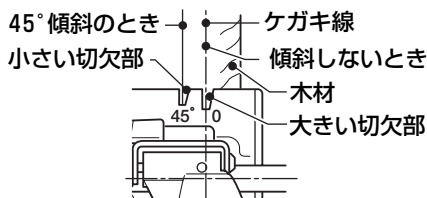
## 注意

- 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。

**注** ・ 切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。

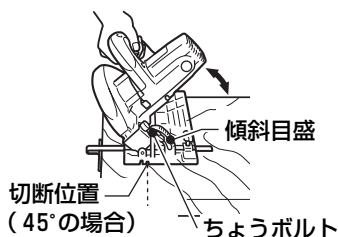
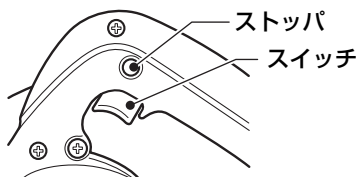
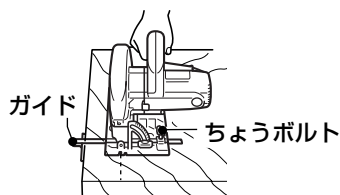
1

材料の上に機体(ベース)をのせ、ケガキ線にベース前部の切欠部を合わせます。傾斜しないときは大きい切欠部を、傾斜するとき(45°)は小さい切欠部を目安にしてください。



2

のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。そのまま機体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。連続運転は、スイッチを引いた状態でストップを押します。スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引き、ストップがはずれてから指をはなします。



# 別売部品

日立電動工具販売店でお求めください。

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

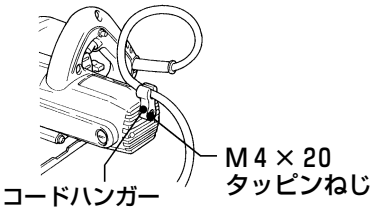
## ⚠ 警告

- 別売部品を使用の際も保護メガネを使用してください。

## 1 のこ刃

のこ刃やチップソーにつきましては、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

## 2 コードハンガー



- 注** • コードハンガーは、コードハンガーに付属のM4 x 20 タッピンねじで取付けてください。

## 3 丸のこベンチスタンド

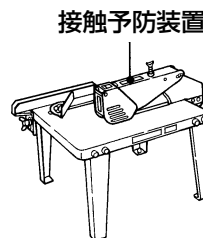
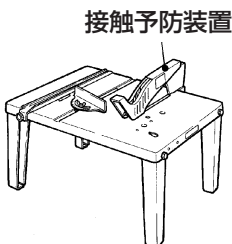
(接触予防装置付)

## ⚠ 警告

- 丸のこベンチスタンドによる定置形作業の場合は、事故防止のため、接触予防装置が必要です。

丸のこで定置作業をする場合に用います。

1. FC7-BS (FC6BB・FC7BB用)
2. PS7-BS3 (FC6BB・FC7BB用)  
(FC6MA・FC7MA)





## ⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

### ● のこ刃の点検

のこ刃の切れ味が悪くなったのをそのまま使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに目立てするか、新品と交換してください。

## ⚠ 警告

- 切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しないでください。  
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

### ● 機体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用をするので使用しないでください。

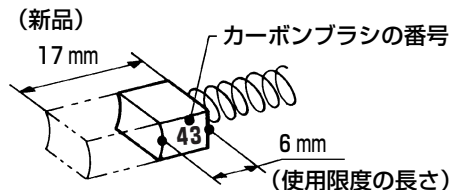
### ● 取付けねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。

### ● カーボンブラシの点検・交換

カーボンブラシは消耗品です。  
長さが使用限度になりましたら、新品と交換してください。

【点検・交換のしかた】

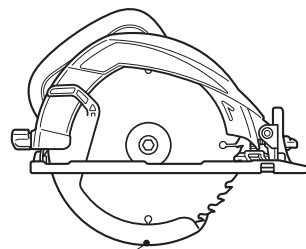


- (1) カーボンブラシは、マイナスドライバーでブラシキャップをはずしますと取り出せます。(8ページの「各部の名称」参照) カーボンブラシは必ず2個同時に交換してください。
- (2) 新品のカーボンブラシに交換後、ブラシキャップを取付けます。

**注** • 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず図示の番号(43)の日立カーボンブラシを使用してください。指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

### ● 保護カバーの動作点検と保守

保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしてください。なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。



保護カバー

# … 点検、手入れについて

■保管場所について 次の場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。
- 直射日光の当たる所。

## 仕 様

形 名 項 目	FC 6BB	FC 6MA	FC 7BB	FC 7MA
使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V			
最大切込み深さ	57 mm		68 mm	
の こ 刃 寸 法	外径 165 × 穴径 20 (mm) ( 外径 160~165 mm の のこ刃も使用可能 )		外径 190 × 穴径 20 (mm) ( 外径 180~190 mm の のこ刃も使用可能 )	
無 負 荷 回 転 数	5000 min <sup>-1</sup> { 5000 回 / 分 }			
全 負 荷 電 流	10.5 A		11 A	
消 費 電 力	1010 W		1050 W	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター			
質 量	3.0 kg (コードを除く)		3.3 kg (コードを除く)	
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 5 m			

# アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

- 丸のこの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。  
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらずお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

## 丸のこの相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

丸のこについてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようにしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…  **相談と修理の窓口**へ

# …アフターサービスについて

窓 口	所 在 地	支店(部)名	電 話 番 号
全 国			
相 談 と 修 理	港 区	営 業 本 部	(03) 5783 - 0626
北 海 道			
相 談 と 修 理	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青 森、岩 手、宮 城、秋 田、山 形、福 島			
相 談 と 修 理	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨 城、栃 木、群 馬、埼 玉、東 京、千 葉、神 奈 川、山 梨、新 潟、長 野、静 岡 県 富 士 川 以 東			
相 談 と 修 理	港 区	東 京	(03) 5783 - 0629
岐 阜、愛 知、三 重、静 岡 県 富 士 川 以 西			
相 談 と 修 理	名 古 屋 市	中 部	(052) 262 - 3811
富 山、石 川、福 井			
相 談 と 修 理	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋 賀、京 都、大 阪、兵 庫、奈 良、和 歌 山			
相 談 と 修 理	大 阪 市	関 西	(06) 4796 - 8451
鳥 取、島 根、広 島、岡 山、山 口			
相 談 と 修 理	広 島 市	中 国	(082) 228 - 0537
徳 島、香 川、愛 媛、高 知			
相 談 と 修 理	高 松 市	四 国	(087) 841 - 6191
福 岡、佐 賀、長 崎、熊 本、大 分、宮 崎、鹿 児 島、沖 縄			
相 談 と 修 理	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

「電動工具お客様相談センター」



0120 - 208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

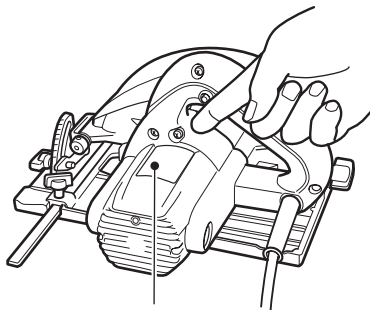
「電動工具ホームページ」

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

× ㄷ

## お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼されるとき便利です。



### 銘板

(製造番号が表示  
されています。)

お買い上げ日	年 月 日
販 売 店	電話番号
製造番号 (No.)	

# 日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティA棟)  
電話 (03) 5783-0626 (代)